学校法人ノースアジア大学広報





2014.3 *March* No. 237

CONTENTS

- 02/ 特集 学生の力を地域へ (ノースアジア大・看護大の取り組み)
- 04/ 観光学科:魅力アップコンテスト、ノースアジア大・短大:合同企業説明会
- 05/ 高校:淡水商工校と国際交流、定期演奏会
- 06/看護大:逢星祭、高校:明桜祭
- 07/ 幼稚園:おゆうぎ会、もちつき
- 08/ 文学賞



淡水商工校と国際交流

被災地で災害復興支援一医療、福祉の専門を生かしたボランティアーニ



秋田看護福祉大学では、9月28日、10月5日の両日、岩 手県宮古市において、東日本大震災復興支援のボランティ ア活動を行いました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、災害の規 模があまりにも大きく、今なおボランティアによる復興支 援への取り組みが求められているのが現状です。そこで、 大学の専門性を生かし地域に密着した医療と福祉分野のボ

ランティア活動に参加することで、学生たちの社会貢献や 福祉活動などに対する意識と関心を高める機会にしようと、 このたび、実施となりました。

この活動には、教職員、学生あわせて、のべ70人が参加。 被災地の復興支援ボランティアセンターとも連携し、被災 した方々への生活支援をはじめ、仮設住宅に設置されたサ ロン(集会所)の運営に携わりました。学生たちは、大学 が主催した被災地支援に関する研修会で得たことを生かし た活動を精力的に行いました。



新たな視点で観光とにぎわいの創出へ



観光学科の学生が、これまで秋田市と連携して取り組ん できた2つの調査についての発表会を行いました。観光学 科と同市との間で、「観光連携協定」を結んでおり、昨年 の春から、「映画やドラマのロケ地支援・観光地化実現」 の可能性、「まち歩き観光」の推進について、調査・研究 を進めてきました。

映画やドラマの撮影を秋田市に誘致する可能性を探った グループは、実際にドラマの撮影が行われた久慈市や会津 若松市を訪れて調査した様子などを発表しました。

まち歩き観光を担当したグループは、自分たちで考えた、 秋田市のまち歩きコースを提案。「アートコース」や「和 菓子コース」など市内の施設や店を巡るものや、ジョギン グしながら立ち寄れる場所を考えた「ヘルシーコース」な どを紹介しました。

質疑応答の時間には、参加した方から多くの質問が出さ れ、活発な意見交換の場となりました。

発表会に参加した学生からは、「発表後に、市の観光ガ イドの方から、一緒にまち歩きをしましょう、と言われた ことが、うれしかったです。自分たちで調べて発表したこ とを喜んでもらえて、やりがいを感じました」「フィルム コミッションの経済的な効果ばかりに着目していましたが、 そこから新たなコミュニケーションや文化が形成されるこ とに気付き、大変勉強になりました」といった感想が聞か れました。



身近にある法律への理解を深める =



12月3日、御所野学院高等学校(秋田市)の1年生約70 名を対象に、「事後強盗罪の成否」をテーマにした模擬裁 判を、40周年記念館で上演しました。このテーマは、10月 に開催した第22回模擬裁判公演と同じ内容のもので、今回 は、同校の生徒4人が裁判官や弁護人などを担当して行い ました。

模擬裁判の前には、法律学科の教員が高校に出向いて授 業を行い、法律や裁判に関する知識を高めることにも取り 組んでいます。

配役の生徒たちは、放課後数回にわたって本学を訪れ、 学生と一緒に練習を重ねました。

10月の模擬裁判を経て、法律への理解を一層深めた学生 たちは、そこで得た知識を、生徒たちへの演技指導に生か し、質問にも的確に答えていました。その甲斐あって、当 日は、どの生徒も自分の役割をしっかりと演じ、高校生と の模擬裁判を成功させました。

裁判官役を務めた生徒は、「大学生の皆さんの丁寧な指 導のおかげで、難しい専門的な言葉も理解することができ ました。本番は緊張しましたが、無事に演じることができ て良かったです」と感想を話してくれました。

この活動では、高校生の法律分野への興味や知的好奇心 を刺激するとともに、学生自身が法律を一層深く理解し、 さまざまな人との関わりの中で成長する場になるように支 援しています。

を地域

地域調査から冬期生活障害の解決へ



ノースアジア大学では、学園の近隣地域での雪による生 活障害の社会調査と除雪ボランティアを実施しました。こ

れは、昨年度に続いての取り組みで、高齢者の雪による生 活への影響などを聞き込み調査してまとめ、降雪時の地域 の問題を学生たちが考える機会となっています。

参加した学生からは、「さまざまな視点から除雪を考え ることの大切さを知りました」「一生懸命除雪したことを 感謝され、地域に貢献する喜びを実感しました」といった 感想が聞かれました。

2月28日には、調査結果をまとめて、対象地域の住民を 交えたワークショップを本学で行いました。学生たちは、 雪が降っても高齢者の方が住みやすい街を作るために自分 たちができることを真剣に考えていました。また、3月18 日には、調査結果をまとめた報告会を行いました。

地域活性化、にぎわい創出を考える二

経済学科では、秋田県能代市にて、交通困難者の問題解 決を目指して、ゼミナールごとの調査を行っています。こ れまで、市民の方への聞き込み調査や実地調査を実施。専 門家を招いた講演会を開いて、交通問題についての知識を

得たうえで調査を行ってきました。

調査結果をまとめた同市での発表会の様子については、 次号、詳しくお伝えいたします。

一第1回高校生私達のまちの観光魅力アップ作戦コンテストー 地域活性化のアイディアを高校生が発表



11月29日、40周年記念館にて、ノースアジア大学観光学 科主催の「第1回高校生私達のまちの観光魅力アップ作戦 コンテスト」の本選を行いました。

このコンテストは、高校生が観光や地域社会に関心を持っ て、新たな観光資源の発掘や地域振興の担い手となること などを目的とし、今年初めて開催。

大館高等学校、五城目高等学校、明桜高等学校から13チー ムが参加し、各高校の近隣地域の観光資源を生かしたプラ ンを考え、提案・発表しました。

当日の司会進行は観光学科の学生が担当し、会場を盛り 上げました。

審査の結果、最優秀賞は、大館高等学校の「かまぶく」 が受賞。優秀賞は、明桜高等学校の「星の街あきた」、五 城目高等学校の「渓流釣りと大自然を満喫しよう」が選ば れました。最優秀賞を獲得した「かまぶく」は、同校で実 際に作っているお菓子です。その発想力と、プランがすぐ に実現可能である点が、審査員から高く評価されての受賞 となりました。



大学3年生、短大1年生の就職活動が本格化

一合同企業説明会を開催一



ノースアジア大学・秋田栄養短期大学キャリアセンター では、12月13日、40周年記念館において、合同企業説明会 を行いました。当日は、企業、団体などさまざまな業界か ら約60社が参加。

今年度第1回目となった、企業説明会には、本学の卒業 生が企業の担当者として活躍した姿も見られました。

大学3年生と短大1年生の就職活動は12月から本格化。

これまで、就職ガイダンスや各種就職対策講座で得たこと を、各自が実践。緊張しながらも、企業の方と笑顔で話し ている学生が多数見られました。

参加した学生たちは、希望する企業のブースを訪問し、 業務内容や選考スケジュールなどの話を、メモを取りなが ら真剣な表情で聞いていました。



文化を通じ国際理解を深める 明桜高校

11月17日から20日の3日間、明桜高校は、姉妹校の提携 を結んでいる淡水高級商工職業学校(台湾 新北市)の訪 問を受けて国際交流を行いました。

初日は、明桜高校の近藤和裕校長をはじめとした教職員 が秋田空港で訪日団を出迎えました。その後、一団はノー スアジア大学観光学科の学生と真理大学(台湾)の留学生 が案内し、にかほ市内を観光しました。

翌日、明桜高校にて歓迎式を行い、クラスごとに分かれ てスポーツなどを通して交流をしました。

滞在期間中は、ノースアジア大学竿燈会の演技を見学・ 体験したほか、角館での校外研修、もちつきなどの日本の 文化に触れました。今回明桜高校を訪れた生徒たちは、同 校生徒の自宅でホームステイを行うなどして親睦を深めま した。



演奏でステージと客席がひとつに

明桜高校

このほど、明桜高校吹奏楽部が第22回定期演奏会を秋田 市文化会館で行いました。当日はあいにくの雨模様となり

ましたが、たくさんの方々に来場して いただき、大盛況の演奏会となりまし た。

第一部では同校の卒業生で、音楽大 学を卒業したユーフォニアム奏者小林 愛乃さんをソリストにお迎えし、華麗 な音色を披露していただきました。

続く第二部では、吹奏楽部員が、ア ニメやゲームのキャラクターになって 登場し、お客様ヘプレゼントを届ける 企画を行い、最後の第三部では、軽快 なポップスステージを披露。引退する 3年生全員がソロを担当しました。笑 顔で応える部員や感極まって涙を流す 部員も見られました。客席からは、温かい拍手と歓声が送 られ、会場との一体感を醸し出していました。





地域、人との「輪」を大切に

逢星祭

秋田看護福祉大学の大学祭、逢星祭を、10月26日と27日 の2日間にわたって開催しました。

今回のテーマは、「輪"愛で繋がる人の輪"」。友達の輪、 地域の輪、新しい出会いの輪を作り、たくさんの人と繋がっ ていることを大切にできるように、との願いを込めました。

看護学科、福祉学科の学生たちが勉強している内容を体 験することができるコーナーや、障害についての特別講演 会、鹿角市地域力再生支援事業(三ツ矢沢地区)の紹介、 震災ボランティアや機能別消防団の活動紹介など、多くの



催事を行い、盛況でした。

また、看護学科では「がん患者に対するアロマオイルを 用いた足浴の効果」などをテーマにした研究発表会、福祉 学科では「障害児のいる家族の現状と課題」など、卒業論 文の中間報告発表会も行い、会場の参加者たちは、学生の 発表に聞き入っていました。

両日ともに天候に恵まれたこともあり、多くの市民の方 が逢星祭を訪れました。



生徒一人ひとりの個性を生かして





10月18日、19日の両日、明桜祭を開催しました。

1日目(非公開日)は、Mr. Ms明桜コンテストや3年生による合唱 コンクール、2日目(一般公開日)は、有志によるダンスパフォーマン スや特技披露、各学年や各コースの研究科目、文化部などの展示、13年 前に埋められたタイムカプセルの開封、吹奏楽部やチアリーディング部 の発表など、内容盛りだくさんの催事、イベントを行いました。また、 韓国での修学旅行で学んだことを発表・展示したコーナーも設けました。 当日は、たくさんの方々に来校していただき、ありがとうございました。



上手に歌って踊ったよ

のびのび



11月16日、のびのび幼稚園・保育園で、おゆうぎ会をひ らきました。

はじめに、0歳児のころころ組が、卵やひよこをイメー ジした衣装を着て登場し、体をゆらしてパチパチ上手に手 をたたきました。1歳児のとことこ組は、名前を呼ばれる と元気よくお返事をしていましたよ。

幼稚園の園児の発表では、年少さんが軽快な曲にあわせ て、振り付けとポーズを決めました。楽しい曲とユニーク な振り付けに、おうちの人たちは、楽しみながら、園児た ちの成長ぶりを喜んでいる様子でした。年中さんは、てぶ くろのオペレッタを発表。くいしんぼうねずみなど、たく

さんの動物が登場して、みんなで仲良く、てぶくろで温ま るお話を演じました。年長さんは、ピーターパンの劇です。 練習では、次のセリフの友達に出番を教えている姿や、友 達と目をあわせながら踊りを練習する姿が見られたそうで す。友達どうし認めあいながら完成させました。困ってい る人がいたら助けてあげる。そんなことが、ちゃんとでき る立派なお兄さんお姉さんに成長していましたね。

最後は、年長さんが「今日のおゆうぎ会はどうでしたか。 これからも、みんなで力をあわせて、がんばります」とあ いさつをして、おゆうぎ会は幕をとじました。



みんなで育てたお米はおいしいね

12月4日、さくら幼稚園で、もちつきを行いました。 この日のおもちは、みんなで、春に植えて秋に稲刈りを したお米から作られました。園児たちは、育てたお米のこ とをしっかりと覚えていましたよ。

はっぴを着て、はちまきをして、さあ、もちつきに挑戦

です。男の子も女の子も、元気いっぱい、がんばりました。 みんなで、大きい声で応援しましたよ。できあがったおも ちは、あんこときなこをまぶして、おいしくいただきまし

また、12月11日には、おにぎりパーティーをひらきまし た。園児たちは、自分たちの手で、一生懸命にお米をにぎっ て、おにぎりを作りましたよ。

みんなで植えた稲は、お米になったり、おもちになった り、大変身です。



ノースアジア大学文学賞 授賞式・記念コンサート

今年で6回目を迎えるノースアジア大学文学賞。このほど、授賞式・記念コンサートが本学古田記念講堂を会場に開催し ました。

今回の文学賞には、418編の応募作品が全国から寄せられ、最優秀賞に藤田理紗子さん(秋田市)=高校生の部門エッセ イの部、藤本大輝さん(大阪府)=高校生の部門短編小説の部、奥田登さん(京都府)=大学生・一般の部門が選ばれました。 各賞の表彰後に、講評に立った審査員の石川好氏は、「今回の作品は、一般の部門、高校生の部門ともに差があったようで す。それは、6回目を迎え、400編を超える応募があって、書き慣れた人とそうでない方々との差が少しついてきたかなと 感じました。選考委員をやっているとどんな面白い作品に出会えるのかが楽しみで読んでいます。今回、一般の方からは、 全国から応募がありましたが、大学生の応募作品が少なかったようです。来年は大学生が一層投稿してくれることを期待し ています」と述べました。

今回、受賞者の中から、根田文平さん(高校生の部門 エッセイの部特別賞)にお話を伺いました。

「内館先生から、熱くて迫力のある書き方であったという作品の講評を聞いてうれしかったです。これまで本を読むとか、 文章を書くことはあまりやってきませんでしたが、自分を表現することは好きです。高校1年の時に投稿した、エッセイで は、奨励賞をいただいていました。今回、留学をきっかけにもっと良い作品を書きたい。もっと上の賞を受賞したいとの気 持ちもあって、再度書いてみました。結果、受賞できたことがうれしかったです」と話し、受賞を喜びました。

授賞式に続いて、記念コンサートを行い、テノール歌手小林彰英氏とピアノ腰塚賢二氏による声楽ステージ。また、小林 氏と腰塚氏、ノースアジア大学吹奏楽部・明桜高等学校吹奏楽部による声楽、吹奏楽の合奏で、受賞者を祝福しました。



【高校生の部門】

エッセイの部

最優秀賞		
~JK の取り扱い説明書(仮)~	藤田理紗子	秋田市
優秀賞		
ホルモンと聖徳太子	後藤のはら	横手市
ゆきちゃん	昆 美里	秋田市
丸つけと夢	髙橋 奈緒	秋田市
内館牧子特別賞		
僕を変えた、高校生活	根田 文平	秋田市
—————————————————————————————————————		
修学旅行〜沖縄と太平洋戦争〜	岡部 柚香	秋田市

短編小説の部

ンガル(m, 1, m) (→ 2 口)							
	最優秀賞						
	あいうえお、かきくけこ	藤本	大輝	大阪府			
	優秀賞						
	陸の海	浅野	陽香	由利本荘市			
	内館牧子特別賞						
	少女に夢を、男に日向を	中嶋	夏希	秋田市			

【大学生・一般の部門】エッセイの部

最優秀賞			
汽車賃着払い	奥田	登	京都府
優秀賞			
坊主頭に咲いた花	長坂	隆雄	千葉県
人生を変えたカマボコ	古垣内	勺 求	大阪府
帰郷~ある17歳の旅立ち~	江利儿	II宗光	神奈川県
内館牧子特別賞			
学徒出陣七十年一塚本太郎を求めて	野上	卓	東京都
—————————————————————————————————————			
八甲田の祖父	武田美	€代子	秋田市
幸の青い花	寺門	敏子	湯沢市

